

農業を守る光の力：ドローンで鳥獣害対策に革新 —自動航行とレーザー照射で広範囲をスマート防御—

成果のポイント（ここがスゴい！）

- ・ ドローンから赤・緑レーザーを照射し、鳥獣に対して視覚的に強い違和感を与えることで忌避を実現。複雑な照射パターンで慣れを防止し、効果を持続。
- ・ イノシシやシカ、カラス等の多様な鳥獣に対して忌避効果。
- ・ 上空からレーザー照射するため、屋上や高所を含む鳥獣害対策に対応。
- ・ ドローンの自動航行により養鶏場や牛舎など、広範囲のエリアでカラスを忌避。

研究機関：株式会社NTT e-Drone Technology、一般社団法人地域総研



ドローンから複雑なパターンでレーザー照射



レーザー照射装置

設定した経路を自動航行可能

- 養鶏場屋根に群がる約80羽のカラスに、レーザー照射
- 個体数削減を確認

導入により期待される効果

農地の忌避業務に要する人的・時間的負担を軽減し、農作物被害を抑制。
また、鳥インフルエンザや豚熱等の感染源となる鳥獣を忌避することで、畜産業における防疫対策にも貢献。

連絡先 株式会社NTT e-Drone Technology

TEL 048-485-8335